MINSHIN Press

MINSHIN Press 号外

2017年4月15日
通常号　定価1部200円（税込み）

民進党 民進プレス編集部
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1　電話：03-3595-9988（代表）　メール：press@minshin.or.jp　URL：https://www.minshin.or.jp

（連絡先）
高松市議会議員
とみの和憲後援会
TEL＆FAX：087-885-0370
e-mail：kaz.tomino@gmail.com

自由、共生、未来への責任

衆議院議員
小川淳也

昭和46（1971）年4月18日　生まれ（45歳）
西春日保、円座小、香東中、高松高卒
平成　6（1994）年　東京大学法学部卒業
自治省入省
平成15（2003）年　総務省退職
平成15（2003）年　衆議院議員選挙（香川1区）に立候補、惜敗
平成17（2005）年　衆議院議員選挙、初当選（現在4期目）

＜好きな食べ物＞さぬきうどん
＜趣　味＞野球、旅行

高松市議会議員
富野和憲

昭和46（1971）年12月29日　生まれ（45歳）
檀紙幼、檀紙小、香東中、大手前高松高卒
平成　7（1995）年　立命館大学法学部卒業
高松市役所入庁（納税課・市民課・人事課）
平成19（2007）年　高松市役所退職（以後、国会議員秘書）
平成23（2011）年　高松市議会議員選挙に立候補（2,165 票）、落選
平成27（2015）年　高松市議会議員選挙に立候補（3,239 票）、初当選

＜好きな食べ物＞唐揚げ、蕎麦、ワイン
＜趣　味＞登山、旅行

日本旗章学協会、香川EU協会、日本唐揚協会の会員

小川淳也さんはどんな人？

Ｑ：小川淳也さんとの関係性は？
Ａ：香東中学校の同級生で、３年生の時は同じクラスで机を並べた仲です。小川さんはスポーツもできる優等生、僕はスポーツ音痴な劣等生という違いはありましたが･･･（汗）

Ｑ：小川さんを再認識したのは？
Ａ：中学卒業後、別々の方向に進んでいましたが、平成１５（２００３）年、香川１区から衆議院議員選挙に挑戦するとの夕方のローカルニュースを観た時はとにかくビックリしました。相手候補は「地盤、看板、鞄」すべてがある方。そういった状況で挑戦するとは並々ならぬ覚悟があるんだと強く感じましたし、そこは実直な小川さんらしい行動だなとも思いました。

Ｑ：小川さんの行動は富野さんのその後の人生に影響しましたか？
Ａ：大いにあったと思います（笑）
当時は高松市職員でしたが、多くの疑問を感じた時期で、小川さんの行動に触発されて、「政治を下から支えたい」と密かに思うようになりました。散々悩んが挙句、僕は平成１９（２００７）年３月に市役所を退職し、国会議員秘書に転職しました。その時は今とは違って自民党の国会議員秘書でしたが、小川さんの国会や地元での活動や活躍ぶりは常に気になっていました。

Ｑ：その後、高松市議選に挑戦されましたよね？
Ａ：はい。平成２２（２０１０）年、当時の民主党香川県連の候補者公募に合格し、東京から帰郷しました。前年に左手首の巨細胞腫の手術をして、人生感が大きく変わったのもありますが、人任せではダメだとも思い、応募しました。平成２３（２０１１）年の統一地方選挙では、僕の力不足もあり落選しましたが、その後の辛い時期も心配し、支えてくれた小川さん、家族、地元の方々、そして、市役所時代の同期や先輩方には今でも感謝しています。

Ｑ：市議会議員に当選してからも、小川さんと行動を共にしていますが、近くで見ていて、どう感じますか？
Ａ：とにかく熱い男です。それでいて、昔と変わらず、実直で真面目な男です。様々なご意見、時には厳しいご意見に対しても真摯に対応している姿は感心します。

Ｑ：小川さんに今後期待するものは？
Ａ：僕らは「政治家２世・３世」ではありません。今までどおり庶民感覚を忘れずに、普通に生き、働き、子育てして、それでも将来に不安を感じる人々に寄り添った政治を実現して欲しいですね。特に、将来に対する不安を少なくするためにも、社会保障制度や所得再配分のあり方については、強く切り込んで欲しいと思います。

（平成２９年３月２３日、民進党県連にて）